准看護師科

科目名称	基礎看護技術　　与薬	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		20
担当教員	南澤　祐子	授業に関わる実務経験	■ 有（　看護師　） □ 無	

【1】 授業概要

診療の補助における看護師の役割を理解したうえで、安全な与薬の技術について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 与薬の目的と看護師の役割を理解する。
2. 安全で正確な与薬の援助を実施するための基礎知識を理解する。
3. 経口与薬、座薬挿入、皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射、点滴静脈内注射の技術を習得する。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
■ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
□ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	与薬の目的と看護師の役割と援助時の基礎知識	講義
2	経口与薬と注射法以外の与薬の援助方法	講義
3	注射法による与薬の基礎知識	講義
4	注射法による与薬の援助技術　1	講義
5	注射法による与薬の援助技術　2	講義
6	輸血	講義
7	皮下・筋肉内注射の技術	学内実習
8	皮下・筋肉内注射の準備・実施・後片付けの実際	
9	静脈内・点滴注射の技術	学内演習
10	静脈内・点滴注射の準備・実施・後片付けの実際	

【5】 評価方法

1. 筆記試験、レポート等

【6】 教科書

千葉　京子　他著 「看護学入門6　基礎看護Ⅰ《基礎看護技術》 」 メヂカルフレンド社　2021 年

【7】 参考書

本庄恵子・吉田みつ子　監修 「写真でわかる臨床看護技術①アドバンス」 インターメディカ　2016 年
角濱春美・梶谷佳子　編著 「看護実践のための根拠がわかる　基礎看護技術」 メジカルフレンド社　2017 年
藤野彰子他　編著 「看護技術ベーシックス　第 2 版」 サイオ出版　2019 年

【8】 受講生へのメッセージ

事前学習として、教科書の該当ページを読んでから授業に臨みましょう。
授業後は復習をしておきましょう。
検査における看護は疾病の成り立ち（臨床検査）の授業と重複する内容もあるため、関連させて復習しておきましょう。
レポートは提出期限厳守です。